

NPO法人 敷島棚田等農耕文化保存協会



応募の概要

- 棚田の地名は、「御領」であり、これは江戸初期に徳川幕府の御朱印田として開田したため、御領とした歴史的な名称が付いており、かつては、棚田が昇仙峡入口で観光名所でもあり、ガイドが必ず棚田を紹介していた。
日本人の精神文化の原点は、「結」で運営されて来た棚田文化である事に着目し活動を行って来た。
- 15年前本会が活動を始めた時は、約6割が木や雑草で荒廃していた。
会は棚田を借り見本田を拠点に、順次整備を進め、また地域への啓発や地主への理解を求める中で、現在約6割の棚田が整備されてきた。
特に広域農道の大橋からの棚田の景観は重要であるとして整備に力を入れている。
- 現在、市で「甲斐市景観計画」を策定中であるが、景観拠点の重要な柱に棚田が位置づけられている。
- 今後は、更に景観整備をすすめるべく、棚田オーナー制度などをつくり、システムとして景観整備が進むよう計画している。



○特に今年は東部広域農道からの景観が良くなるように、カヤ、竹などを伐採し綺麗にしました。



徳川幕府より「御朱印」を賜った「御領地」 としての歴史をもち、「御領棚田」の地名は それが由来です。

日本の農村文化景観遺産
御領地 千枚田(棚田)へようこそ

NPO法人 数島棚田集落文化保存協会

御領棚田公園

約800枚の等高線にそった大小様々な波状に見える棚田、一番小さい田んぼの広さは、畳一畳位(通称「箕隠れ田」と言われています。

800枚の複雑な棚田の図面

南アルプスと盆地を展望する 特等席の棚田



- この棚田は、特別景勝地「昇仙峡」の入り口にあります。
中央高速道路からでは、新宿から約2時間、双葉スマートICから約5分の、交通の便の良い棚田です。
- 棚田からの展望は素晴らしく、正面には南アルプスの日本で2番目の高さを誇る北岳と4番目に高い農鳥岳の稜線が連なり、眼下には甲府盆地が一望出来ます。



○会員は現在24名(地元農家、市内外、県外、大学の名誉教授、県立大学の理事、設計会社の社長、伝統工芸品を扱う会社の専務など多彩)ですが、活動へは夫婦での参加や学生の参加などもあり約35名以上です。



棚田と言う舞台で、多くの皆さんと楽しみ交流し
歴史あるこの景観を一緒に守っていきませんか？



以前は、東京の子供らと田植えや稲刈りを体験させたり、田植え踊りをした。また、稲刈り後に演奏会なども行ないました。